

デーリー東北
2017年(平成29年)7月3日(月曜日)(16)

活躍期待 研究者らを表彰



長谷川明理事長(中央)と受賞者4人

県工業技術教育振興会

八戸

青森県工業技術教育振興会(長谷川明理事長)は6月26日、八戸

パークホテルで、工業技術に貢献または活躍が期待される研究者、教育者、技術者を対象

とした表彰式を開き、

2016年度の対象者4人に表彰状を贈った。

「八戸市蕪島海水浴場の糞便汚染に関する研究」を手掛け、特別功労賞に輝いた八戸高専の矢口淳一教授は、「今後も青森のために頑張っていきたい」と述べた。

他の受賞者と受賞課題は次の通り。(敬称略)

▽本間哲雄(八戸高専准教授)「青森県における超臨界流体利用技術の活用」

▽柴田幸司(八戸工業大准教授)「八戸圏域の観光振興および寒冷地での農作物生産支援へのIoT技術の応用」

▽高橋晋(八戸工業大准教授)「水産殺菌ユニットの開発」

(佐藤雄)